

工事概要

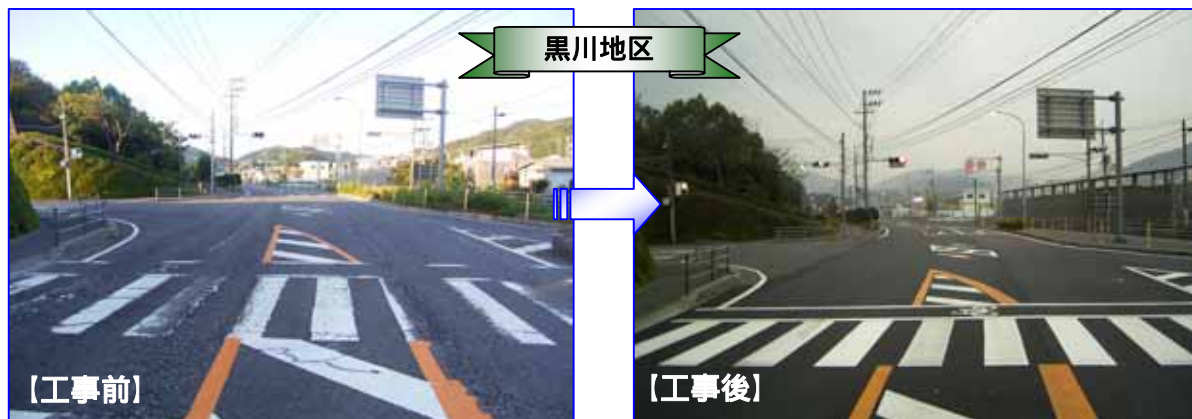
国道2号廿日市市地御前～大竹市黒川の5箇所で排水性舗装工事を行い、騒音が低減、走行性の向上が図られました。

また、阿品地区では新たに歩道を整備し、歩行者が安全に通行できるようになりました。

施工箇所		
廿日市市	地御前地区	L=228m
	阿品地区	L=695m
	丸石地区	L=380m
	四十八坂地区	L=430m
大竹市	黒川地区	L=512m
施工期間	平成18年9月～平成19年3月	

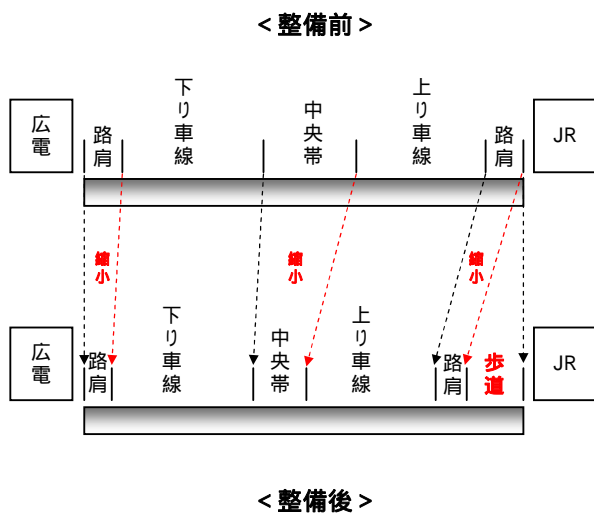


工事前・後の状況写真



阿品地区での新たな歩道整備

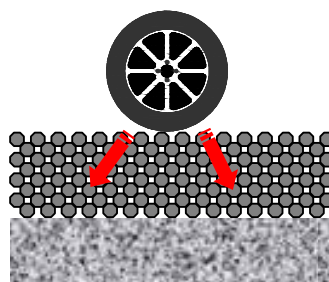
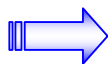
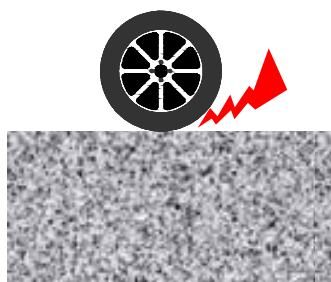
本工事の阿品地区において、歩道を新たに設置しました。
この区間は、JR山陽本線と広島電鉄宮島線に挟まれているため、歩道整備のための用地取得ができず、歩道の無い状態でした。
今回、歩道の設置幅を確保し、新たに整備することができました。



排水性舗装について

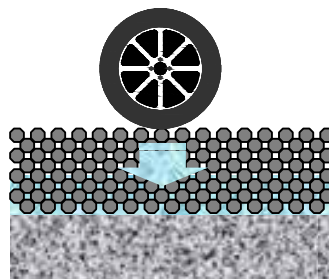
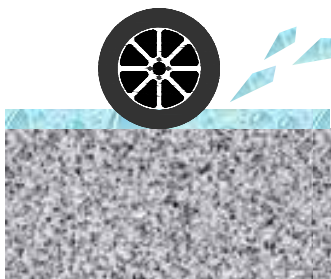
アスファルトに隙間(空隙)をすることによりその隙間が水や空気(騒音)を吸収し、雨天時の視界の改善や、走行音を低減する効果が得られます。

・騒音の低減



空気(騒音)を空隙に逃がすことで、走行音(騒音)の低減効果が得られます。

・雨天時の視界改善



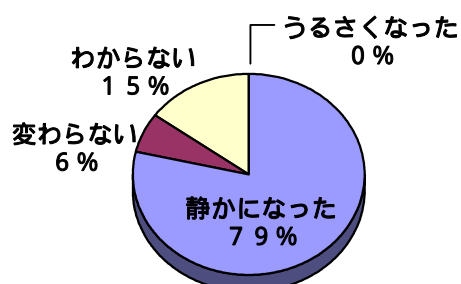
雨水を浸透させ不透水層の上を流れて排水するため表面に水が溜まりません。タイヤの水はねが無くなり雨天時の視界が向上します。

聞き取り調査結果

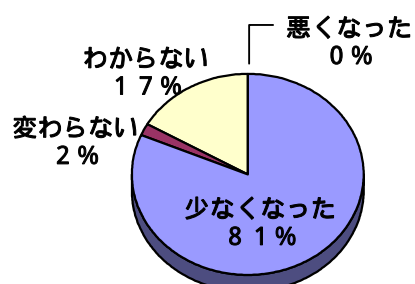
< 平成19年3月アンケート実施 >

工事終了後、沿道環境に関する聞き取り調査にご協力いただいた沿道住民約50名のうち、約8割の方に効果を実感していただきました。

自動車の走行音について



雨天時の水はねについて



また、その他道路工事への意見・要望としては以下の回答がありました。

- ・ 工事中の音がうるさかった。
- ・ 工事の回数が減るようにしてほしい。
- ・ 施工区間を延長してほしい。
- ・ 昼間に工事をして欲しい。

皆様からのご意見を今後の参考にさせていただき、より良い工事の実施を目指していきます。